

1963年4月

社名を株式会社リコーに変更

事業の多角化が進み社名を1938年に「理研光学工業株式会社」と変更。1960年代に入り売上高100億円を超える企業となった理研は、1963年4月社名を現在の「株式会社リコー」に改め、さらに大きな飛躍を遂げることとなります。



1963年に生まれたコーポレートロゴ

理研光学は
4月1日より
「株式会社リコー」
に社名を変更
いたします

カメラと事務機の総合メーカー
RICOH

当社は、昭和11年2月に創立され、以来まったく独自の道を歩んでまいりました。その間、進歩的ながさかずの大衆カメラを送り出したリコーカメラ部門、リコービームをはじめとして複写、管理、計算の分野まで進出したリコー事務機部門、世界的な水準を達成したリコー感光紙部門の各製造部門と、独自の研究陣を擁した類のない総合メーカーに発展し、製品のすべては「リコー」の名のもとに親しまれるようになりました。このため、当社名を、製品ブランドとしての「リコー」と一致させ、みなさまに一層愛される企業に脱皮することを、かねがね急務と考えてまいりました。また昨年、貿易の自由化と、海外への伸展にちなんで、英文社名をRICOH COMPANY LTD.と改めましたのも、此度の新社名への布石であります。

いまや全社員は、業界における「リコー」の地位に誇りをもち、わが国生活文化の向上と、世界企業への躍進を期しております。これを機会に、なにとぞ「リコー」のブランドを、一層深く愛してください。ようお願ひ申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

新社名 株式会社リコー
旧社名 理研光学工業株式会社
取締役社長 市村 清

理研からリコーへの社名変更広告（1963年）

関連サイト

ロゴマークのあゆみ

<http://jp.ricoh.com/company/history/logo/>

リコーのあゆみ

<http://jp.ricoh.com/company/history/>